≪四段以上の推薦書を作成する際の注意点≫

**紙上昇段について**

① 年月日、段位は半角数字で記入。

② 年は西暦の下2ケタで記入。（例）1980.4.1 → 80.4.1

③ ご指導いただいている先生のお名前は、氏名の後に段位を記入。

　 （例）中島政司8段

④ 『柔道修行経歴』『現在の修行状況』は箇条書き禁止。

　 「指導を受ける」ではなく、「師事」と記入。

　　（例）○○道場において○○8段に師事。

⑤ 試合成績は時系列で記入。

⑥ 資格・ライセンスを保有している場合は、取得年度を必ず記入。

　　（例）93年全柔連公認審判ライセンスＣ取得

⑦ 学歴は中退などの場合は最終卒業歴を記入。

⑧ 下記の大会名に注意する

|  |  |
| --- | --- |
| 　　　　大　会　名 | 推薦書に記入する大会名 |
| 埼玉県柔道大会(秩父) | 埼玉県下武道大会柔道競技 |
| **※**埼玉県柔道道場大会（道場連盟主催） | 埼玉県道場対抗柔道大会 |
| 埼玉県民総合スポーツ(体育)大会支部対抗 | 県民総体柔道競技 |

※ただし、埼玉県柔道道場大会は六段以上には得点として認められていません。

⑨ 『柔道の普及発展に尽くした功績』では、最後に必ず「柔道の普及発展に尽くした

　 功績は多大である」という一文を記入する。功績内容も同様。